

大学の 仲間たち



和名 ウスバツバメガ
学名 *Elcysma westwoodii*
分類 鱗翅目マダラガ科ホタルガ亜科
開張 55mmくらい



ウスバツバメガ (別名：ウスバツバメ)

美しい色、華奢な感じがするために「チョウだよ」と言われると信じてしまうような外見であるが、実はガの仲間である。モンシロチョウくらいの大きさであり、飛び方がそれよりもかなりヒラヒラしているが、昼間飛ぶのでモンシロチョウと思っている人が大半であろう。ガとなって飛翔しているのは本構内では9月の初めのごく短い時期のみである。この時に産みつけられた卵はまもなく孵化し、幼虫になるが、大きくなる前に落ち葉の下などで越冬する。4月に入りサクラの葉が伸びてから幼虫の活動が活発になり、多量にサクラの新葉を食べる。この幼虫が本構内でも時々大発生し、「翌年はサクラの木が弱って花を着けないのでは…」と心配するくらいに葉が丸坊主にされる。幼虫は全体的に淡褐色であるが、背中と外側に黒い筋をもつ。ガと同様に美しい感じの幼虫であるが、体に毒成分があるようで、子育て中の鳥もこれを餌にしない。以前、研究室の学生が構内で巣から落ちていたシジュウガラのヒナを発見したことがあり、このヒナの食欲が旺盛で餌となる昆虫の幼虫を探すのに苦労していた。そこで、その時に大発生していたこの幼虫を食わせようと努力したが、ヒナがまったくこの幼虫を食べなかった。なお、このガはかつて切手のデザインとして使用されていた。

(自然環境教育センター長 前田喜四雄)

URL <http://www.nara-edu.ac.jp/ECNE/index.htm>



奈良教育大学 広報誌

第21号 平成18年3月31日 編集／広報・情報公開委員会 発行／国立大学法人奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 ☎0742-27-91056 ☎0742-27-9141
<http://www.nara-edu.ac.jp>